

こんにちは！ 氷砂糖と申します。

氷砂糖からは **造形文学** をお届けします。

造形文学とはなんぞや？

もったいな疑問です。

まあまあ、こういうものは言葉の説明より

実際に見て触った方がわかるものです。

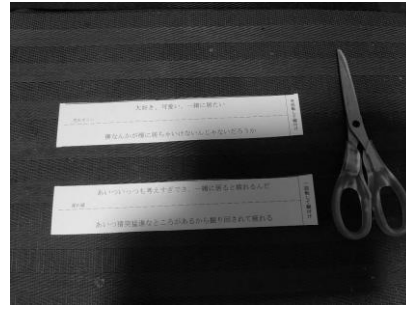
ぜひ触ってみてくださいませ。

用意するもの：はさみ、糊

1. 実線 (——) に従ってはさみを切ります。
(右図上のように帯が二つできます)

2. 「恋わずらい」は半回転して糊付け、
「腐れ縁」は一回転して糊付けします。
(それぞれ右図中下のようになります)

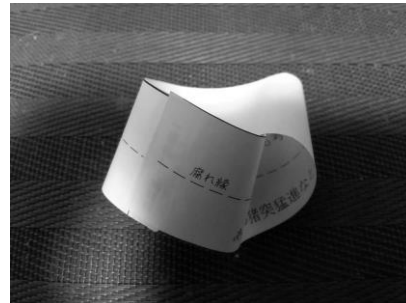
3. 点線 (-----) に従って中央を切っていくまじょう！



帯が二つできます



半回転して糊付け



一回転して糊付け

大好き、可愛い、一緒に居たい

恋わずらい

僕なんかは傍に居ちゃいけないんじゃないだろうか

あいついつつも考えすぎでさ、一緒に居ると疲れるんだ

腐れ縁

あいつ猪突猛進なところがあるから振り回されて疲れる

どうでしょう、お楽しみいただけましたでしょうか。
こちらメビウスの帯の性質を利用したものです。
お話というにはストーリーがありません、
芸術というにはあまりにもつまらない。
でも、そんな「実験」の場を与えてくださった
ぺらふえお様に大感謝を！
アクトン様も大感謝です！
氷砂糖でした。



よろしければ
匿名感想アンケート
もお願いします。

ことばのメビウス

発行

2022.08.02

氷砂糖

<http://ice037.parfe.jp/>

半回転して糊付け

一回転して糊付け